

## ■路線バス（阪急バス）社会実験路線の路線ごとの評価基準について

※社会実験運行の経過期間・時点に応じて評価基準や評価の流れが異なりますので、詳しくは「[社会実験路線の評価基準及び評価の流れ](#)」をご覧ください。

路線名	早急に路線の見直しを検討	運行頻度の減便を検討	社会実験を継続	<b>本格運行へ移行</b>	サービスレベルの向上を検討
如意谷線	約6人/便未満	約6～7人/便	約7～9人/便	約9人/便以上	約18人/便以上
箕面山麓線	約19人/便未満	約19～25人/便	約25～32人/便	約32人/便以上	約63人/便以上
小野原東線 (箕面船場阪大前経由)	約14人/便未満	約14～18人/便	約18～22人/便	約22人/便以上	約44人/便以上
箕面小野原線	約23人/便未満	約23～31人/便	約31～39人/便	約39人/便以上	約77人/便以上
箕面中央線 (新稲系統)	約18人/便未満	約18～24人/便	約24～30人/便	約30人/便以上	約60人/便以上